



福岡市政だより

令和4(2022)年

5/1

No.1707

どんたくでまちを元気に

新しい
どんたくの
楽しみ方

モバイルどんたく



スマホは
こちらから



博多松囃子行列(西島伊三雄・画)

！ 新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため、引き続き基本的な感染症対策を徹底しましょう

国や県、市からの正しい情報に基づき、状況に応じて適切に行動してください。

※本紙掲載の情報は4月12日時点のものです。催しが中止になるなど、内容が変更となる場合があります。事前に各問い合わせ先にご確認ください。

● <特集>どんたくでまちを元気に	1-3
● 新型コロナウイルス関連情報	4
● 福岡ミュージアムウィーク	5
● 子育て中のカラスにご注意ください	6
● 市営住宅(抽選方式)	7
● 情報BOX	8-15
● 区版	16
※中面折り込み	ふくおか市議会だより

市長からのメッセージ

まちに元気を 取り戻そう

福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」が、規模を縮小するなど感染症対策を徹底した上で、3年ぶりに開催されます。

新型コロナウイルスの影響で、ここ2年は開催中止を余儀なくされました。しかしながら、福岡の伝統文化を象徴する市民の祭りを、絶やすことなく後世に伝えていくことも大切です。

どんたくの成功は、一人一人の感染症対策にかかっています。今年から、パレードのライブ動画などが見られる「モバイルどんたく」を使って、皆さんに自宅などで安心して楽しんでもらえる環境も整えました。

再出発する新しいどんたくを、みんなで成功させ、まちに元気を取り戻しましょう。

福岡市長 高島宗一郎



人口	1,619,893人 (前月比697人増)	面積	343.46km ²
男=763,403人/女=856,490人		ダムの貯水率	69.01%
世帯数	845,339世帯 (前月比3,774世帯増)		(4月12日現在)
※人口と世帯数は令和4年4月1日現在推計			
● 市役所代表電話 ☎711-4111 (福岡市の市外局番は092)			
● 市政に関するご意見・要望・相談 広聴課 ☎711-4067 733-5580			
● 福岡市政だよりの配布 毎日メディアサービス ☎0120-359-303			



どんたくでまちを元気に

伝統を継承〜どんたくの源流「博多松囃子」がゆく〜

5月3日(火・祝)、4日(水・祝)に、第61回「博多どんたく港まつり」が開催されます。3年ぶりとなる今年は、パレードの時間を短縮するなど規模を縮小し、感染症対策を講じて開催されます。自宅でも楽しめる、新しいどんたくの楽しみ方を提案します。

「博多どんたく港まつり」は、5月3日、4日の2日間、老若男女が思い思いの衣装を身にまとい、パレードや、各所に設置された演舞台で踊りなどを披露する市民の祭りです。今年は、パレードの参加者を令和元年の約2万人から9千人程度に、演舞台を34カ所から17カ所に減らして開催されます。

福岡市民の祭り振興会の三苫雄一事務局長(51)は、「顔写真」に話を聞きました。



大切な市民の祭りを、規模を縮小してでも絶やさず続けること、そしてコロナ禍で停滞している経済活動を本格的に回復させることが私たちの使命です。コンパクトながらもできる範囲でどんたくを再開させて、後に続く山笠や全国の祭りにつながる役目もあります。祭りはたくさんの人を勇気づけてくれます。「どんたく」は、戦後の焼け野原から元気を取り戻し、市民の皆さんと一緒に成長してきた復興の祭りです。福岡県西方沖地震や東日本大震災の後にも復興を願い開催しました。日本中を元気にしたいという強い思いが、見る人に伝わったのではないかと思います。

コロナ禍で、戦後初めて中止を余儀なくされ、原点に立ち戻ることになりました。これまでもそうだったように、これからも人々を笑顔にし、たくさんの人を勇気づける祭りでありたいと思います。

3年ぶりの開催となり、うれしい反面、無事に終わらせなければならぬという思いもあります。祭りの成功のために市民の皆さん、ご協力をお願いします。安全安心に、みんなでどんたくを楽しみましょう。

「モバイルどんたく」

祭りを見る人も参加する人も利用できる、「モバイルどんたく」を活用した新しいどんたくの楽しみ方を紹介します。

●知って楽しむ

どんたくのメインイベントである明治通りのパレードには、約120の団体が趣向を凝らした衣装やパフォーマンスで登場します。

●見て楽しむ

パレードや「お祭り本舞台」のライブ映像をYouTubeで公開します。パレードの配信は、見通しの良い水上公園前にカメラを据え、絶好の観覧スポットから行います。

通り過ぎる出場団体をすぐそばで見たいような、臨場感あふれる映像が楽しめます。離れて住む家族や友人にも、教えてあげてください。

3日のパレードには、商工会議所会頭や知事・市長のほか、前夜祭に出演する歌手の高橋洋子さんが登場します。スター

ト時に行われるテープカットや博多松囃子によるお祝い、稚児舞の模様も配信でお楽しみください。

●イベントマップ・歴史写真

市内17カ所の演舞台など、いつ、どこで、どんなイベントが行われているか、トップページ「イベントマップ」で分かります。市内を練り歩く「博多松

囃子」、「にしてつ花自動車」などの位置情報も確認できます。また事務局に眠っていた古い写真をデジタル化し、過去の祭りの風景やどんたくの歴史を紹介しています。

どんたくに関する問い合わせは、市民の祭り振興会(☎441-1118) 441-1114(9)へ。



●お祭り本舞台 5月3日、4日
市役所西側ふれあい広場
どんたく隊による演技の他、マーチングフェスティバルやゲストによるステージが行われます。



《にしてつ花自動車》5月2日～4日、華やかに装飾された花自動車=写真=2台が、市内幹線道路を巡ります。現在位置は、「モバイルどんたく」で確認できます。



コロナ禍の日本を元気に

市民の祭りを守り伝承する

戦後の博多の復興祭から
日本一の市民の祭りに

博多どんたくは、我が国に古くから伝わる民俗行事「博多松囃子」(国指定重要無形民俗文化財)が起源といわれています。「博多松囃子」は、新年に祝福をもたらず歳神を迎える民俗行事が、博多の町人によって風流な民俗文化となり定着したもので、「流」と呼ばれる博多の自治組織によって現在まで受け継がれています。

博多がかつて平家の宋貿易の基地として栄えたことから、平重盛に対する謝恩として治承3(1179)年に始まったと伝えられています。文禄4(1595)年には、その頃、名島城にいた小早川隆景と秀俊(秀秋)の下を、松ばやし一行が訪れたという文献も残っています。

その後も年に一度の楽しみとして続き、黒田長政の入城後も城下町「福岡部」と博多町人のまち「博多部」が松ばやしを通して交流しました。日本各所で行われていた松ばやし行事も、古い形式を今に伝えているのは博多だけだといわれています。明治維新の混乱期に一時禁止されながらも復活を遂げ、この頃から「どんたく」と呼ばれ始めます。第二次世界大戦が始まるまで華やかに催行されました。

●焼土の中から立ち上がる
戦後の町を再興へと導いたの



焼土の中で響き渡る三味線・太鼓の音色は人々の心を励ました

が、博多っ子の「のぼせもん」(夢中になる人)たちの郷土愛と情熱でした。昭和21(1946)年5月、奈良屋地区で復興祭が催され、6年ぶりに「松ばやし」が復活します。

肩衣を紙で作って張りぼての馬を首から下げて、戦災を免れた三味線や太鼓を借り集め、がれきの町におはやしを響かせながら練り歩きました。この小さな復興祭が人々に大きな勇気を与え、翌22年に戦後初めての「どんたく」が開催されました。

●市民の祭りへ

昭和37年に市民の祭り振興会が結成され、福岡市民の祭り「博多どんたく港まつり」となって現在に至ります。毎年200万人の見物客が訪れ、日本で一番の祭りといわれるようになりました。

現在、博多松囃子一行は、3日に黒田氏墓所・崇福寺参詣、県庁表敬訪問、4日に招魂祭の名残で旧城内から護国神社を参拝し、市役所表敬訪問を行います。博多部・福岡部を巡り、その道すがら寺社や企業、店舗を訪ね祝います。

また一行は、3日の「どんたくパレード」の幕開けを飾ります。古式ゆかしい衣装に身を包み、往時の精神を受け継ぐ「博多松囃子」は、社会の平和と住みよいまちの象徴ともいえる伝統行事なのです。

どんたくに関する問い合わせは、市民の祭り振興会(☎441・1118 F441・1114)へ。



にしてつ花電車は、昭和22年から路面電車が廃止される前の50年までまちを走り、52年に花自動車として復活。毎年5月2日～4日に市内を巡る

「祝うたア!!」博多松囃子

「三福神」(福神、恵比須、大黒)と「稚児」で構成される松ばやし行列は、櫛田神社を出発し、それぞれコースに分かれ、昔ながらの姿で練り歩きます。



三福神(左から福神、恵比須、大黒)比須、女恵比須、大黒

どの馬も、肩衣姿で足首を絞った「たっつけ袴」の男たちに囲まれて進み、稚児は要所要所で謡や太鼓に合わせて舞を披露します。それぞれの行列にかさぼこが付き、寺社や企業等を巡り、祝います(1面イラスト参照)。

先頭の少年たちが「言い立て」を唱えながら進み、福神は建築する柱をほめる地づき歌、恵比須は新造船の祝い言葉、大黒は御田祭の田植え歌の歌詞を唱えます。各流は、祝賀先で両手を挙げ、「祝うたア!!」の掛け声のもと、それぞれのしきたりで祝います。

迎える側は「1束1本」と呼ばれる半紙1束と扇子1本を三方に乗せて渡し、酒や紅白かまぼこ、乾物などでもてなします=写真。



昭和47年～62年は国体道路でパレードが行われた

知れば知るほど面白い どんたくミニ知識

「どんたく」は、オランダ語で休日の意味する「ゾンターク」が語源です。

かさぼこめぐり

かさぼこは大きな傘の上に鉾(ほこ)や造花などを飾り付け、6枚の「垂れ」を下げたもの=写真=で、毎年3本のかさぼこが新調され、奉納されます。赤ちゃんをかさぼこにくぐらせると、丈夫に育つといわれています。



縁起物の預かり

笹の枝に赤で大きく「のし」と書いた半紙を結んで、紙風船などで飾り付けたものを「預かり」と呼びます。どんたく隊を迎える家々では、この預かりをたくさん用意して、訪れた人たちに1本ずつ渡します。半紙には店名が書かれており、後日

預かりを持ってその店に行くとまんじゅうなどの商品と換えてもらえます。昔は半紙を目当てに子どもが後ろを付いて回る、ほのぼのとした光景がありました。

しゃもじばやし

どんたくのパレードで、しゃもじを楽器代わりにたたき「通りもん(余興隊)」の姿をよく見かけます。これは、ごりよんさん(商家の妻)が食事の支度中に通りかかった通りもんにぎやかなおはやしに、しゃもじを手にしたまま表に駆け出し行列に加わったことが始まりと伝えられています。

※イラストは全て西島伊三雄氏によるもの。



懐かしの名場面

毎年2日に実施される前夜祭には、多くのスターが登場し注目を集めました。昭和35年に福岡スポーツセンター(現ソラリアプラザ)で第1回が開催されてから年々盛大になり、昭和57年には、美空ひばりさんの歌謡ショーが行われました。※昭和63年から、福岡国際センターで開催(今年はお祭り本舞台で実施)。昭和58年には車両パレード69台の中に人気テレビ番組「西部警察」の渡哲也さんら大門軍団が参加し、番組のロケも行われました。



平成23年には、どんたく50周年記念に「東京ディズニーリゾート」の人気者たちが登場